

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	湯梨浜町立総合中学校(仮称)屋内運動場新築工事	階数	地上2F		
建設地	鳥取県東伯郡湯梨浜町長江51番地	構造	RC造		
用途地域	区域区分非設定、防火地域指定なし	平均居住人員	700人		
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年		
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2018年10月 竣工	評価の実施日	2016年7月8日		
敷地面積	44,224 m ²	作成者	(株)白兎設計事務所倉吉事務所		
建築面積	2,680 m ²	確認日	2016年7月11日		
延床面積	3,515 m ²	確認者	(有)井手添建築設計事務所		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能: 5</p> <p>Q1 室内環境: 3</p> <p>Q3 室外環境(敷地内): 4</p> <p>LR1 エネルギー: 1</p> <p>LR2 資源・マテリアル: 2</p> <p>LR3 敷地外環境: 3</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.7</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.1</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>周囲の景観・環境に配慮し、生徒が快適に勉学に励むことのできる環境作りに努めている。</p>		<p>その他</p> <p>0</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>有害物質を発生させない建材を採用することにより、室内空気質を健全に保っている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>建物全体のコンセプトが明確であり、コンセプトを反映させるための内装計画がなされている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>周辺のまちなみに対して圧迫感などないよう景観に調和した配置、高さ、色彩等に配慮している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>屋根、外壁に断熱材を使用し、冷暖房時における設備システムの効率化に努めている。また照明器具にLEDランプを採用し省エネ化に努めている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水コマ付水栓、節水型の衛生器具を採用し水資源の保護に努めている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>照明器具の検討体制に専門家が参加し、エネルギーの有効利用が図られている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される